



辰野町教育委員会の学校へのねがい：「どの子にも居場所のある学校」
 先生方へのねがい：「わが子も入れたくなる学校」「わが子も入れたくなる学級」
 児童生徒へのねがい：「明日も行きたくなる学校」

学校教育目標：「自ら進んで課題を見つけ、より良く解決していく子ども」

「わくわく」は楽しみに待つ姿

「やってみたい」「こうなりたい」という気持ちを表現したり、実現したりする時間を作りたい。

子どもたちも先生方も同じように楽しみにする時間を作りたいと考えている。子どもたちの力を信じることを土台として対話を重ねながら主体的に動き出したくなる「しかけ」作りを考えていきたい。すこしずつ、試行錯誤を重ねながら、自分で学びを楽しめる人を目指していきたい。

一方で教師に求められるのはそれぞれの単元を見通してどのような力をつけていくのか見通しを持った上で子ども達に任せる場面や時間を考え、積み重ねていく必要がある。基礎的基本的な力はつけていかなければならない。そのためには個別最適な学びの実現を図る必要がある。

その大きな力になる可能性があるのが ICT であり、ICT の利活用は欠かせない要素として取り組みを進めたい。

子どもと先生がともに「明日も行きたくなる学校」を目指したいと思います。

「挑戦」 「あなたは どうしたい？」

やってみたい。失敗を次に生かす体験にしていく。自分で計画を立てる時間、振り返りの時間を大切にする。「子どもと共につくる授業」 → 子ども達(先生方・保護者)との対話 …年度当初、時間は短くても機会を増やしていく。自分の考えを表現してもいいんだ。聞いてもらえるんだ。と実感できるようにしたい。